

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ころこ		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 20日		～ 2024年 10月 4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2024年 9月 20日		～ 2024年 10月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの自主性を大切に活動の日々意識し取り組んでいるところ。	長期休暇での遠足や調理実習など子どもたちのリクエストを聞き、活動に取り入れている。	意見を言えないお友達も、日々の様子から好きそうなことや、やりたそうなことを汲み取り活動を取り入れていきたいと思っています。
2	保護者とLINEをつなげさせていただき、いつでも連絡を取り合っている。 保護者の皆様には、いつでも親身になってくれ相談できるのでありがたいと言っています。	事前に写真の公表の有無をお聞きして毎回LINEで日々の様子を写真や動画で送りとても好評をいただいております。	保護者の皆様のご意見を取り入れながら今後も継続していきたいと思っております。
3	決まったことを全員でするのではなく、それぞれにしたいことを尊重し、子どもたちが選択して活動できるようにしている。	工作の道具を充実させる。 行きたい公園が違ったりする場合など、2箇所に分かれて行動する。	子どもたちの希望を叶えられるよう一人ひとり寄り添って支援をしていきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	手話のできる少ないスタッフが少ない。	聴覚支援学校の子どもたちの利用が増え手話が必要になってきたため	手話講座などを受講し、手話を学んでいる。
2	カリキュラムがないため1日の計画が立てにくい。	子どもの自主性を大切にしているため。	季節ごとの壁面制作や子どもが喜ぶ工作を考える。
3	多方面への関わりが少ない。 地域・他の事業所など当事業所以外の人や子どもと接する機会が少ない。	土日祝が休業のため、関われる日時を合わせにくい。	長期休暇に取り組んでいきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		放課後等デイサービス こころ		公表日		2024年10月31日	
	チェック項目	利用児				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
		19	2		5		
環境・体制整備	1	19	2		5	●人数が多いと少し活動しずらそうに見えます。	人数が少ない時に体を使った遊びや運動をするように心掛けています。
	2	24			2		運転専属のスタッフに来てもらい、所内のスタッフ不足を解消しています。
	3	25	1				
	4	25	1				
適切な支援の提供	5	23	2		1		
	6	24			2		
	7	26					
	8	25	1				
	9	26				●友達とのコミュニケーションの方法を支援していただきとても成長しました。	一人ひとりの特性を見極め、無理のないよう支援計画を立てるようにしています。
	10	25	1			●長期休暇には色々な活動があり、長い時間デイで過ごしますが飽きずに過ごせていると思います。	平日は季節ごとの工作などに取り組めるよう子どもたちと相談しています。
	11	5	3	1	17	●活動をしているかわからない	利用日が合わない(土日祝休業のため)のでなかなか機会を作ることが出来ない。長期休暇に取り組むことを検討しています。
保護者への説明等	12	26					
	13	26					
	14	11	1	1	13	●事業所でどのように過ごしているか、どんな状況かなどの情報提供に關してはいつもよく話していただいています。	ご家族等が参加できる研修会や情報提供の機会等があればお伝えしております。事業所独自の研修会などは行っておりません。
	15	26				●毎利用時LINEで、その日の様子を写真や文章で伝えてくれて分かりやすい。	保護者の皆様からも、ご家庭や学校の様子をLINEで教えていただき、助かっています。
	16	21	2		3		
	17	26					
	18	1	4	4	17	●保護者同士の交流とは関係ありませんが、OB・OGが集まれるようなイベントなど企画していただけると本人にとっての楽しみの一つとなると思いますのでぜひご検討ください。(高3保護者様)	卒業生がよく遊びに来てくれます。OB・OG会ぜひ検討したいと思います。
	19	23	1		2	●送迎時はもちろん、LINEで連絡が取り合えるのでいつでも(夜間・休日)気になったことを気軽に相談できるのでとても心強いです。	困りごとや相談にはいつでも対応できるようLINEを活用しています。所内での相談も随時受け付けております。
	20	26					
	21	22	1	2	1	●利用時に毎回LINEで写真や動画を送ってくださるので様子がよくわかります。 ●定期的なおたより通信が配布され行事等での様子が分かりやすい。	2ヶ月に1回「おたより」を発行しています。長期休暇の行事予定は休みごとに発行し、子どもたちにもわかりやすいようにしています。
22	25			1			
非常時等	23	18			8		
	24	20		1	5		

の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から迷やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22			4		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26				<ul style="list-style-type: none"> <li>●いつも色々と細やかな対応ありがとうございます。</li> <li>●アットホームな雰囲気で自分のペースで過ごせることが子どもにとっても安心感があるようで楽しんで利用しています。</li> </ul>	たくさんの温かいお言葉をいただき感謝しています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>●毎回とても楽しみにしています。（複数）</li> <li>●毎日学校からデイサービスで疲れていると思いますが、笑顔で帰ってきて楽しく過ごせているのが伝わります。</li> </ul>	たくさんの温かいお言葉をいただき感謝しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26				<ul style="list-style-type: none"> <li>●いろんな経験をさせていただきありがとうございます。</li> <li>●日々の様子をLINEで知ることができるのが一番ありがたい。事業所とのやり取りがしっかりできていることが実感できます。</li> <li>●先生方に感謝です。ありがとうございます。</li> <li>●毎回様子について写真を送って頂くことも親にとって安心できるし、送って頂いて見ることが楽しみの一つになりつつあります。</li> </ul>	たくさんの温かいお言葉をいただき感謝しています。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービス こころ				公表日	2024年 10月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・公園や散歩に行く等工夫されている ・体を使う遊びは17時以降に人数が減ってからしている ・活動しやすいように片付け広いスペースを確保している		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		・送迎専門のスタッフを増やし所内に居るスタッフを減らさない ・利用人数や子供の状態に応じてシフトを作成している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・一日の中で定期的にアルコール消毒をしている ・支援前や後には必ず消毒をしている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		子ども達が一人になれる空間を作っている 小部屋があり気持ちを落ち着かせたりするスペースがある		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		週に一回会議を設け、情報を共有したりこどもたちに対しての支援の見直しなど話し合っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		前年までは毎年11月にアンケートを実施し結果を元に会議で話し合い 保護者の方々の思いを受け止め今後より良い支援が出来るように努めている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		スタッフ同士で話をする時間が毎日ある 疑問に思った事や不安に感じた事等はその都度、職員間で共有し話合える環境となっている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		今後検討していこうと考えています	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に研修が行われており学ぶ機会は確保されている		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		半年に一度のモニタリングを行い子どもや保護者の意向だけではなく、日々かかわっている職員にも話を聞き検討し作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員間で子どもの日々の様子や課題などについて話を検討し作成している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		子どもの支援が切れ目なく一本化されるように考えて作成し支援している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		会議などで職員同士で話し合い決めている		

× 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		子ども一人一人特性に応じて考え作成し支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日スタッフで話をして情報共有している職員間で一日の流れなどを確認しあい職員同士で連携し業務を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	送迎時に保護者からの話をききその日に気づいたことはライン等で発信している	支援終了時には送迎等で時間外になる為ラインやメールでの打ち合わせを行っている。次の日には改めて共有し直し確認していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		子どもが利用した日の様子などを個別記録に記入し職員で共有しより良い支援につなげるようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に一度モニタリングを行い支援計画の見直しをしています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		遊びや楽しい活動をとらして子ども達が様々な事を学んだり生活スキルを身につけたり出来るよう日々考えて支援を行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		子どもの状況を共有し児童発達管理責任者が参加している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	子ども達にたいしてより良い支援が出来るように関係機関と情報を共有し連携していきたい	保護者や相談員と連携し対応しています
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		利用契約時には情報共有とし保護者と話し合い必要であったり希望があれば対応していきます
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		定期的に事業所に来て頂き支援の仕方についてアドバイスを貰いそれを取り入ながら日々子供達と接している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		地域の公園等での接点はあるが交流の機会があれば活動していこうと思います
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	お話があれば参加させて貰っています	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎の際に出来る限り保護者の方とコミュニケーションを取り情報共有している連絡帳や電話、ラインで子どもの様子を伝えあっている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		半年に一度のモニタリングを実施し保護者と話をする機会を検討している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1		保護者の希望があれば開催したいとは思いますが、中には父母の会等を必要とされていない保護者もいるので設けていません。ただ個人的なつながりを希望される保護者には双方の許可を貰い繋げる事はさせて頂いています	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			お便りを作成し行事予定などを記載し配布している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			鍵付きの棚に保管し取り扱いには十分に留意している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			ホワイトボードや絵カードを使いコミュニケーションが出来るようにしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			月に一度、避難訓練などを実施している。いつでも見て貰えるようにマニュアルを貼っていたりまとめた物をファイルに閉じている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			・月に一度、避難訓練などを実施し検討し改善を行っている。 ・また防災リュックの見直しも定期的に行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5				
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6				
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			ヒヤリハット用紙に記入し週一回の会議の際に報告し職員間で共有し話し合い再発防止に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			定期的に研修が行われている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6					